

八幡平市教育委員会会議録

令和元年9月25日（水）

八幡平市教育委員会

令和元年9月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和元年9月25日（水）午後3時00分から午後3時43分

2. 場所

八幡平市役所3階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	羽 沢	憲 英
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	川 村 憲 弘
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 開会

それでは、ただいまから令和元年9月定例教育委員会を開催いたします。

8. 教育長あいさつ要旨

8月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 8月24日（土）市の生涯学習推進大会が開催され、寺田小、田山小、平館高校PTAの実践発表が行われた。
- 2) 8月25日（日）平館地区、寺田地区の大運動会に顔を出させていただき、子どもたちが地域の大人の方たちと一緒に活動しており、とても和やかな感じを受けた。特に中学生の係活動が、きびきびと大変見事であった。
- 3) 8月28日（水）校長会があり3点の話をした。1点は子供たちが安心して

て通えるような、教師の言葉について、暴言等のないような学級、学校経営をとということ。2点目はスマホゲームの使い方について、家庭と連携して、ルールの徹底を図ってもらいたいということ。3点目は平舘高校との連携について、平舘高校の魅力について話し、進路指導では、平舘高校もぜひ考えてもらいたいということ。

- 4) 9月1日(日)八幡平市の防災訓練が寄木小学校で行われ、寄木小の子どもたちも避難訓練・消火訓練・炊き出し訓練等に一生懸命取り組んだ。
- 5) 9月2日(月)「わたしの主張」北岩手地区大会が葛巻中学校で行われた。西根中学校の黒さんが、最優秀賞を受賞し県大会に進んでいる。
- 6) 9月4日(水)田山小学校公開。大変素晴らしい公開だった。
- 7) 9月5日(木)市の定例会が始まっている。
- 8) 9月6日(金)岩手地区中学校駅伝競走大会が、雫石の陸上競技場で行われた。最終ランナーが競技場に入って来た時には、西根中第2位で20m程の差だったが、ゴール寸前で滝沢南中をかわし、胸の差で2連覇を果たした。
- 9) 9月11日(水)小学校陸上競技会、雨の中スタートしたが、何とかもって最後までやり切ることが出来た。委員さん方の出席ありがとうございました。
- 10) 9月12日(木)第6回の校長会があり、ここでも3点の話をした。1点目、江間章子賞の第1次選考への協力感謝。2点目、地震災害・火山防災に向けた取り組みの見直し。3点目、田山小学校の公開を受けて、小学校英語の推進について話をした。
- 11) 9月14日(土)岩手地区中学校新人大会がり、各中学校とも熱戦で頑張った。西根中学校のサッカー、松尾中学校のソフトボールなどが県大会へ進んでいる。
- 12) 9月24日(火)教育研究所の授業研究会が行われた。
- 13) 9月25日(水)午前中に江間章子賞の最終選考委員会が、メトロポリタン盛岡で開催された。

10月の主な行事について報告

- ・中学校4校の文化祭
- ・臨時図書館協議会
- ・小学校音楽発表会
- ・岩手地区中学校の総合文化祭
- ・平舘小学校公開
- ・特別支援教育研究大会岩手地区大会
- ・人権尊重に関する意見発表会
- ・柏台小学校公開。

9. 報告事項の要旨

(教育総務課)

・会期中の第3回市議会の内容の概要について、9月17日から3日間、9名の一般質問があり、そのうち教育委員会に関係する質問が5名からあった。

・1つは、少子化を見据えた学校再編、複式学級の現状について通告を受けた。市P連と市長の懇談会の内容を答弁しているとともに、小学校よりも中学校の統合に向けた、部活動のため通学区域外へ通学している現状や、これから行う保護者アンケートの内容を踏まえて、地域住民や保護者と議論を交わしていく旨の答弁をしたところである。次は、学力向上の関係で、秋田県内の事例を取り上げ、家庭学習ノートや、家庭学習充実による学力向上についての考え方ということで質問を受けた。家庭学習ノート等、当市でも実施している現状、家庭教育・学校教育指導の重点として捉えながら定着を図るということで、実施している取組内容を答弁している。それから、食品ロスの削減という大きい質問項目の中の一部として、給食の食べ残しの現状、食育という観点からの質問を受けた。2センターから排出される、食べ残しの3年間の平均値を答弁している。年間で約7.6t、1日当たり約38kg。食育に関しては、食べ物を採る大切さ、関わる人に感謝しながら好き嫌いなく食べることにより、食べ残しの減少につながるよう、栄養士、調理師、生産者も交えながら食育を展開していることについて答弁している。次の4人目は、小中学校の携帯、スマホの所持率や、SNS依存による健康への影響、いじめの状況の質問を受けた。これに関しては、昨年度小4から中3までのアンケート調査の内容について答弁している。携帯の所持率は43%、そのうちスマホが27.5%で、中3が46%となっており、寝る時間が遅くなるとか、視力が落ちるといった症状が見受けられる。

・最後5人目は、平舘高校に関して、県立高校の再編計画に関してということで質問を受けた。後期高校再編計画の意見交換会を、各ブロックで展開しており、その中で出された意見内容、本年度、平舘高校普通科1クラス減になったが、そのことに伴い入学者数減になった見解、家政科学科の普通科への改編はどうか、語学科を新設してはどうかなどの質問を受けた。高校の存在はまちづくりにかかせないものであり、地域の高校の消滅は地域の衰退を招く。盛岡周辺の市町の高校は、そこで学びたい生徒の受け皿となっており、地域の核になっているもの。何とか小規模でも存続させる方針を盛り込んでほしいと、意見交換会で出されたものである。市の広報を活用して、平舘高校の魅力発信を定期的に行ったり、市内の中学校との連携による進路指導の強化に取り組むなどの答弁を行っている。

(教育指導課)

・9月4日に田山小学校の学校公開が開催された。市外からも参加者があり、全体で80名ほどの先生方が集まった。研究主題は、「主体的に学ぶ子ども

もの育成～英語に親しみ、伝え合う楽しさを実感できる外国語活動の工夫を通して～」であり、来年度から本格的に実施される、小学校における英語や外国語活動の在り方について、貴重な提案をしてもらった。子どもたち、集中して授業や活動に取り組んでおり、助言の先生や参会した先生方から、非常に高い評価をいただいている。本当に来年度以降、本市の英語教育、外国語活動等のリーダー的な、見本になるような授業が展開されているのが、田山小学校である。機会があれば、ぜひ参観していただければと思っている。

・昨日、教育研究所の事業である「テーマ別授業研究会」が行われた。市内の小・中学校の教員全員が4つの会場校に分かれ、会場校が提案した授業の参観と、授業研究会を午後から行った。言語能力の育成がテーマの分科会が、松野小学校で外国語活動の授業をもとに。それから、問題発見・解決力の育成がテーマの分科会が、西根中学校で数学の授業をもとに。表現力・感性の育成がテーマの分科会が、大更小学校で体育の授業をもとに。主体性・協同性の育成がテーマの分科会が、寄木小学校で道徳の授業をもとに行っている。こちらから、ぜひこの先生にお願いしたいと、4名の先生に授業をお願いした。どの学校のどの授業も、先生方からの評価が非常に高く、勉強になった、良い授業参観であったとそのような感想を沢山いただいている。とても意欲的な児童・生徒の姿と、熱心に指導する先生の姿が見られた。その後の研究会でも、先生方が活発に意見を出し合って、授業改善に向けて研修を深めていたということについて、報告を受けている。

来月は中学校の文化祭、小学校の学習発表会、平舘小学校と柏台小学校の学校公開が控えている。様々な事業、行事等目白押しであるので、児童生徒、教職員が意欲的に教育活動に取り組むことができるよう、支援していきたいと考えている。

9. 報告事項についての質疑

なし

10. 議事

報告第1号 「議会の議決を経るべき議案について」（令和元年度八幡平市一般会計補正予算第2号）

11. 議事の概要

○星教育長

報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を、事務局から説明お願いいたします。

○工藤教育総務課課長

それでは、報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」でございます。

～～～資料に基づき説明～～～

○星教育長

はい、ありがとうございました。

報告第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

○宮野委員

この柏台小学校のタンクの容量いくらか。

○工藤教育総務課長

タンクの容量は、5,000ℓです。

○宮野委員

5,000か。はい。

○伊藤委員

意外と今まで聞いたことないというか、あまりこういうことなかったわけですよ。ね。タンクについて。

○宮野委員

あの、漏水で工事する必要ないんですよ。油が漏れている訳じゃない、タンクの中に水が入ったわけでもないのだから必要ないですけど、FRPの工事っていうのは、タンクの大きさはあまり関係なくてですね、中に人が入る工事に莫大なお金が掛かるんですよ。大きさはあまり関係ないですけど、5,000ℓのタンクっていうのは通常はあまり使わないんですけど。松尾地区の学校は5,000ℓのタンクが使われている。

○伊藤委員

でかいのか。小さいのか。

○宮野委員

大きい。学校にしては大きすぎるくらいですね。ちなみに安代の場合は、各施設に地上タンク置いたりして、2,000ℓのやつを置いたりしてるんだけど、その設置工事なら50万くらいで済むんだけどね。どうしても設備が、重装備になってるんで修繕費も掛かるということになる。

○伊藤委員

ただ学校はそんなに古いわけじゃないのに、今までこういう補正に出たこと、記憶にないなと思って。

○工藤教育総務課長

めったにあるものではないですね。

○宮野委員

詳細は分からないけど、FRPの工事の費用とすれば、こんなものではないか。掛かりますね。

○星教育長

特殊なんですか。人が入るってことは。

○宮野委員

あの、一重殻といって、鉄板で作っているタンクなんですね。その中にプラスチックの被覆を塗る作業なんです。塗る作業なので、人が入って工事しなきゃいけないので、危険除去とかもあってコストが掛かる。

○伊藤委員

2000のドラム缶 25本並べたのと同じだよ。容量5,000lといえばね。結構掛かるんだ。松尾の方みんなそうなんだ。

○工藤教育総務課長

耐用年数50年くらいと言われているので、本来であれば、まだ30年くらいは使用できる状況です。

○伊藤委員

しょうがないんだね。

○星教育長

よろしいでしょうか。

(委員から「はい」の声あり)

それでは質疑を終結致します。お諮りいたします。報告第1号「議会の議決を経るべき議案について」を、原案の通り承認することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、報告第1号は原案の通り承認することといたします。

それでは5.その他に入ります。事務局から何かありますか。

はい。それではなしということですが、委員の皆さんから何かありますか。しよ

うか。どうぞ。

○高橋委員

小学校の陸上記録会のことなのですが、予備日もあって天気予報見れば、本番の日以外は晴れてて、給食も止めててお弁当2日持たせる予定だったんですか。

○川村教育指導課長

まあ学校にもよるかと思うんですが、基本はそうです。

○高橋委員

やっぱりお母さんたちが「ちょっと、あの日はないよね」みたいな声はかなり聞こえて。判断する方だけの責任じゃないと思うんですけど、ちょっとやっぱり、もう少し周りの声を聞いたりとか、子どもたちがちょっと可哀想で、判断する時の、決め方じゃないですけど、もうちょっと良い状況でやらせてあげたかったなっていうのは思いました。

○星教育長

本当にね。私もスタート時点で「これは、きついな」と思ったんですが、5時半くらいの判断って言いましたよね。校長会が判断したんですが、当日5時半時点の判断で、その時点では降ってなかったということで、GOサインを出したようなんですけどね。もうその時点では、陸協とかいろんな関係の、協力いただく方々もみんな動いているので、ということだったようです。あの、子どもたちにはちょっとせっかく練習したのに、可哀想な思いをさせたという気はしますが、まあでも後半は少しずつ良くなってきたのかな。

○伊藤委員

途中、途中晴れたりして、良かったりもしたんですけどね。ただ、やっぱり教育長言われたように、体育協会とか、陸上協会とか相当な人数の人たちにボランティアをお願いしている関係上、早朝とか前の日にキャンセルであれば、仕事に行けるとか、いろいろ段取り組めるんでしょうけども、やっぱり続けてダメだから明後日にしますとか、明日にしますとなると、もう向こうの協力体制が取れないっていうふうなこと、言われたみたいですね。

○星教育長

そうすると、なんのための予備日なんだということになりますね。

○高橋委員

雨天の場合は予備日と書いてある。雨天決行ですよという感じで報告があれば、じゃあしょうがないっていう感じ。送り出すほうもそういう感じだと思うんですけども、「途中でないって言われるかもしれないけど送り出した」っていう

声が聞こえてきて。雨天なら中止とか延期って書いてあった。

○伊藤委員

やっぱりスタッフっていうか、補助員っていうか、先生方なりを動員するなりとか、何かこう自分達で、ある程度やれるような状況であれば、じゃあ今日雨降っているから明後日にしようとか、予備日にしようとか、簡単に多分出来ると思うんですよ。外部の2団体をお願いしているというので、そちらの方から何十人とお願いしているから、そこがちょっとね。じゃあそこ都合悪いって言われると、みんなそこ穴開いちゃうって言うんだもんね。

○星教育長

台風が接近しているとか、なんかこう見えるような状況であればね。なしにしようかと判断できるんでしょうけど。

○伊藤委員

私も、ちょっと寒いし雨に濡れて可哀想だなと思ったんですけども、まあ今までの過去のいろいろな情報、大雨でも結構、娘の時もそうでしたけども、ざんざん大雨の時もありまして。

○星教育長

天気良いコンディションでやらしたいというのは、みんなその願いなんですけどもね。

○宮野委員

気持ちとしては、みんなの気持ちはそうなんだろうけども。私も現場にいましたけども、いろいろあるだろうけども、一部の教師がヒステリックに、大勢の方々がいらっしゃる前で、ああいう行動に出るのはいかなもんだろう。私は、あれこそが間違いだと思う。私は、ああいう教師に子どもを預けたくない。あれは、直して欲しい。とんでもない。お客さんの目の前で、あんな態度を取るっていうのは。あれは、きちんと理由を話して、説明すれば良いことで、何もあんな感情に任せて、大きな声、怒鳴ることじゃない。あれはとっても恥ずかしいと思いますよ。

○星教育長

この教員については、様々実はあってですね。

○伊藤委員

ちょっとやっぱりね、個人的感情論で、ああいう場では本当は指導者としては、あの場では私も思ったけど。やっぱりみんなでちゃんと、協議会というのがあるんだから、そこで協議していただいて、集まってもらってね。

○宮野委員

そうですね。

○伊藤委員

そういう姿を保護者に対しても、子どもたちに対しても、その姿をあの場で見せるべきなのであって。こういうときは、こういうのをみんなで決めるべきなのであって、変更も有りうるよと。今までもやってきたからって、これじゃあねというのも。

○星教育長

あの場では、会長がこの方針で行くと、全体の前で確認をして、その通り進めた訳ですけども、今いただいたようなですね、やはり一教師としてどうあるべきかというご意見についてはですね、機会を見て校長の方にも、お伝えをしておきたいと思います。ありがとうございます。

では、よろしいでしょうか。

特にないようですので、これを持ちまし八幡平市教育委員会定例会を閉じます。

ありがとうございました。